

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益社団法人 日本舞踊協会
公演団体名	公益社団法人 日本舞踊協会

内容
<p>【お囃子の生演奏に合わせて日本舞踊を踊ろう！】</p> <p>●正座、お辞儀、立ち座りなどの日本舞踊の基礎的な所作(動き)を学ぼう！</p> <p>●役になりきって生演奏で踊ろう！</p> <p>(使用曲:「風神雷神」 作曲:渡部進 作調:藤舎呂風 制作:公益社団法人日本舞踊協会)</p> <p>日本舞踊は踊りや音楽などさまざまな要素で成り立っている芸能です。基礎的な所作や踊りを体験することで、現代ではなかなか学ぶことのできない日本人ならではの所作の美しさを発見してもらいます。体験はお囃子の生演奏で行うことで、音に合わせて踊る楽しさや音の魅力を体感してもらいます。</p> <p>※当初は、浴衣着用のプログラムを予定しておりましたが、情勢や参加人数、各学校のご希望等も踏まえて、浴衣の着用はなしで行うことも想定しています。</p>

タイムスケジュール (標準)
<p>※浴衣の着付けを行う場合 全 110 分程度(授業 2 コマ分+休憩時間) 浴衣の着付け (約 20~30 分)+所作・踊り指導(休憩を含め 約 90~80 分)</p> <p>※浴衣の着付けを行わない場合 全 90 分程度(授業 2 コマ分+休憩時間) 所作・踊り指導(休憩を含め 約 90~80 分)</p> <p>※浴衣の着用をなしで行う場合は、授業時間が短くなります。(110 分 → 90 分) ※ 1 時間以内のプログラムをご希望の場合は、体験内容の一部を省略します。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
合計 6 名 (舞踊家・演奏家・スタッフ)

学校における事前指導
実技が中心のプログラムですが、ご要望に応じて質疑応答時間等を設定するなど柔軟に対応いたします。保護者や地域の方々の観覧も歓迎いたします。
(※給食時間等を利用した懇親タイムの実施は、感染症対策を踏まえ、実施なしを想定)

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益社団法人 日本舞踊協会
公演団体名	公益社団法人 日本舞踊協会

演目
「ひらけ！ ^{にほんぶよう} 日本舞踊のとびら」 鑑賞演目： 常磐津 ^{とまわす} 「京人形 ^{きょうにんぎょう} 」「飛び出す！日本舞踊玉手箱」

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
通常公演／出演者：20名 スタッフ：24名 合計：44名 (※当初の予定から増員を検討中…大道具・照明・音響+3名) ※当初の予定よりもスタッフ（大道具・照明音響）を増員して行うことを想定し、調整中です。

タイムスケジュール（標準）
<u>通常公演（約90分）</u> 8時頃：学校到着～搬入（～8:40頃）・仕込（所要時間約3時間）／11時半：リハーサル 本番前に安全確認（舞台設備・照明等の安全を先生と確認） 13時15分頃：児童・生徒入場／13時半：開演／15時20分頃：終演 ～17時頃 搬出・撤収 ※ご希望の開演時間や搬出入口の状況・環境等により、時間は前後いたします。

実施校への協力依頼人員
※感染症対策を踏まえて、できる限りスタッフのみで進行できるよう調整中です。 ※体育館の搬出入口の環境や開演時間等により、ご協力を依頼させていただく場合もございます。 ※参考情報（コロナ禍以前） 搬入・搬出時の運搬人員 約～20名 (※可能な範囲でご協力をお願いいたします。作業時は、スタッフが危険のないよう指導します。) *中学校では生徒さんの協力を歓迎します。小学校は教職員・PTAの方をお願いします。

演目解説

「ひらけ！日本舞踊のとびら」^{にほんぶよう}

“みる・きく・おどる”をキーワードに日本の伝統芸能である日本舞踊を楽しく体験しながら学んでもらいます。

日本舞踊のとびら【みる部屋・きく部屋・おどる部屋】を開いていくという趣向で展開します。最初に出演者が舞台に勢揃いし、ご挨拶(口上)からプログラムがスタートします。

(※短縮版で行う場合は体験部分を一部省略して上演いたします。)

★日本舞踊とはどんなもの？みんなで日本舞踊家の踊りをみてみよう！

(※短縮版は体験内容を一部省略します)

“お辞儀・立ち座り・拍子を踏む”などの日本舞踊の基本的な所作を体験します。

★邦楽器について学ぼう！(※短縮版は一部省略します)

日本舞踊の伴奏音楽である常磐津(語り、三味線)、鳴物(小鼓、大鼓、締太鼓、笛など)の特色や音色の魅力を演奏や踊りの実演を通して発見してもらいます。

★四季の風物の表現や踊りを体験！(※短縮版は体験内容を一部省略します)

生演奏に合わせて全員で日本舞踊を踊ります。



常磐津「京人形」

《鑑賞演目》^{ときわ}常磐津「京人形(きょうにんぎょう)」

江戸時代後期に初演され、今もなお親しまれている踊りです。

憧れの女性にそっくりの人形(京人形)をつくった甚五郎。

真心をこめてつくったその京人形があるきっかけで人間のように動き出す、という楽しい演目です。鑑賞の前後には、踊りの内容や見どころを実演も交えながら分かりやすく解説。

「飛び出す！日本舞踊玉手箱」^{にほんぶようたまてばこ}

日本舞踊家7名と演奏家10名による群舞

この公演で学んだ様々な日本舞踊の要素を盛り込んだオムニバス作品を鑑賞します。



※特別支援学校では、事前に先生方に公演の映像をご覧いただき、公演時間・体験内容等については、担当の先生とご相談の上、設定いたします。

※本プログラムの一環として、公演の前後に質疑応答の時間を設けるなど、ご要望に応じて事後学習の機会を設けることも可能です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- 初めて触れる日本舞踊を楽しく学び体験してもらえよう司会者と一緒に、日本舞踊のとびら（【みる部屋・きく部屋・おどる部屋】）を開いていくという演出で行います。
 - 【みる部屋・きく部屋・おどる部屋】の各場面、実演と体験を交えながら進行します。司会進行役が、出演者（実演を披露・解説や体験のレクチャー役）に質問を投げかけ、子供たちと一緒に学んでいくという趣向で展開していきます。
 - 鑑賞コーナーでは、初めて日本舞踊に触れる方にも視覚的・内容的に楽しく、日本舞踊の表現の多彩さを感じてもらえる作品を選定。最後に上演する群舞「飛び出す！日本舞踊玉手箱」は、プログラム内で体験した表現がたくさん織り込まれており、この公演の集大成となる演目です。
 - 体験コーナーでは、全児童・生徒が体育館のフロアで、日本舞踊の基本的な所作や美しい表現を学び、邦楽器の生演奏に合わせて踊ります。~~ステージ上で出演者が解説を交えながら見本をみせるほか、体育館のフロアでも日本舞踊家が児童・生徒の間近で、直接指導します。~~
- ※体育館フロアでの演者からの直接指導については、学校のご希望も踏まえつつ、対応いたします。
- 配布する公演のプログラム資料には、写真を多数掲載、本公演での印象的な場面を書き込む欄を設けるなど、それぞれにお気に入りを見つけてもらえるような構成にします。

※実施に際しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策等を踏まえて、各学校と相談しながら内容を調整させていただきたく存じます。

児童生徒とのふれあい

※以下内容については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策等を踏まえて各学校と相談しながら内容を調整させていただきたく存じます。

- ~~開場時間・体験の最中には、ステージ上で出演者が解説を交えながら見本をみせるほか、フロアにいる児童・生徒の間に入り、直接指導を行います。~~
- ※体育館フロアでの演者からの直接指導については、学校のご希望も踏まえつつ、対応いたします。
- ワークショップ同様、質疑応答時間を設けるなど、ご要望に応じて事後学習の機会を設けることも可能です。また、学校新聞などの取材やインタビュー、撮影にも応じます。
 - ワークショップ・本公演のいずれかの実施が困難になった場合は、映像資料を提供するほか、オンラインでの交流や演者からのメッセージ動画等を学校に送り、こどもたちとコミュニケーションをとることを想定しています。